

北海之光

11月号 北海道教区報

安らかに信頼している

ことにこそ力がある

イザヤ書 30章 15節

発行所 北海の光社
001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12

日本聖公会北海道教区事務所

電話 011-717-8181

FAX 011-736-8377

E-mail:hikari@nssk-hokkaido.jp

http://www.nssk-hokkaido.jp

発行人 植松 誠

「み言葉 耳」をもつ

小樽聖公会牧師・帯広聖公会管理牧師
司祭 クリストファー 永谷 亮

司祭の務めのひとつに礼拝での説教があります。主日礼拝ではその日に読まれる聖書の箇所が決められていますので、日曜日が終わったら次の

知識に加えて、信徒の方々や地域との関わりといった体験が聖書のみ言葉をより鮮やかに、生々しいものにしていくことを実感します。

主日の聖書日課を確認し、声に出して読んだり、釈義をしたり、注解書を調べたりしてイメージをふくらませます。例話にふさわしいエピソードを探したり、み言葉について黙想したりしながら準備を続けます。私は心配性な性格なので、努めて金曜日までに主日の準備はすべて済ませ、土曜日は心と体の備えのためになるべく用務の予定を入れないうようにしています。(なかなか理想通りにいかないことを素直に申し上げます)

私は説教をほぼ完全原稿として準備しています。教会の礼拝は特別なのか、自分で福音書を朗読していても、聴いている者としての感覚のほう

ます。しかし、聖霊が語ってくださることに信頼を捧げきれなかったのか、反省しきりのときもよくあります。その都度、ふだんから聖書をよく読み、み言葉に聴くことが大切だと実感するのです。さて、春からおよそ半年が過ぎました。例年でしたら休日アウトドアを楽しんだり、友人たちと会食をしたりして、教会とはすこし違うところからのインプットも大切にしていたのですが、今年もあつて自宅を過ごす時間が多くなりました。そして自宅では父が残してくれたジャズレコードを聴き直す、そのような時間が多く与えられました。

ひたすら聞く、身を委ねる、自我を捨てる…どこかで聞いたことがあるような…。やはり聖書もコツコツ読み続けることが一番のようです。神様のみ言葉が耳を素通りせず、み心もつと響くと思つたらわくわくしてきますよ



—心の窓をひらひら—

福音と私(二四三)

—今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか—

新札幌聖ニコラス教会信徒

クララ 丸山 優子

好きな聖句

『疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。』

マタイによる福音書一一章二八節

私が洗礼を受けたのは、一九九七年三月のイースターでした。それまで働いていた医療事務の仕事を半年前に辞めたため、短大に入学する直前でした。私が教会に通うようになったのは、私の兄との関係、そして旦那様である丸山君との出会いが大きく関わっています。



気持ちを抱きました。今思うと、わだかまりからの解放感のようなものかもしれませ

ん。兄は生まれつき体に障害があり、我が家の生活の中心はいつも兄でした。小さい頃はそれを不満に感じたことはありませんでしたが、大きくなるにつれ、反発心を抱くようになっていました。新聞で『障害者の兄弟姉妹「きょうだい児」について』という記事を読んで、自分の抱えていた気持ち、私だけの問題ではなかったのだと、妙に安心したのを覚えています。この気持ちを説明するのはなかなか難しいのですが、常に抱えている罪悪感というか不安定な気持ちです。

兄は中学二年の時に、最初の脳腫瘍になりました。当時小学生だった私は、母が兄をこんな体に産んでしまっただけに、申し訳ないと思つていて、私にもつとつとすっかりしなけりゃいけないと思つていたので、いけません。母から、あなたの手のかからない子どもだったと言われますが、手がかけられないようにしなければい

けない、もつと強くならなければと思つていました。

兄は病気が原因でいじめられるようになり、もともと気弱だったのがさらに弱くなり、私はそんなことに負けたりダメだとますます強くなりました。この弱い兄と強い妹の関係性が大人になってもずっと続いたのです。もつと優しい妹であればよかったです。後悔しています。

高校生の頃、母から「わかっていと思うけど、将来、お兄ちゃんのことをよろしくね。そのために、あなたを産んだのだから。」と言われました。思春期だった私は、母にそう言われて虚無感に包まれました。私の存在は自分のためではなく、兄のためにあるのだという絶望感です。親となつた今では理解できますが、当時の私は受け入れられず、現実逃避から本に没頭するようになりました。最初は物語やフィクションが好きだったのですが、そのうち三浦文学にたどり着きました。キリスト教に導かれたのは、三浦文学が大きく影響しています。

キリスト教に興味を持ち、

こっそり聖書を買ひ、色々なクリスチャン作家の作品を読みながら、教会ってどんなところだろうと思ひ巡らしていたそんな私の前に現れたのが、同じ職場にいたクリスチャンの丸山君でした。神様が私のために彼を備えてくださったのかもしれない。医療事務から福祉の世界に転職したことも、もちろん彼の影響で、勉強が大好きな彼は、積極的に福祉系大学への進学を勧め応援してくれました。勉強嫌いの私が奇跡的に福祉系短大に合格したことも、神様のご計画の一つなのでしょう。

そんな転機の勢いで受洗したようなところもあり、受洗後も「私は神様を信じています」と大声で言える自信がありません。小さな声では言えらると思ひますが、「私、ちゃんと信じているの?」といつも心に問ひかけています。ごめんさい、こんなクリスチャンもいるのです。このように私ですが、どうかこれからも迷いながら神様の与えてくださる道を歩んで行ければと願っております。

常置委員会報告

第一三回 一〇月二一日

《協議事項》

一、教区会聖餐式信施奉獻先の件

「教区の宣教の働きのため」

とした。
二、教区基本財産処分に関する件

・札幌聖ミカエル幼稚園の「幼保連携型子ども園」への移行を目指して行われる改築事業に伴う札幌聖ミカエル教会付

属の建物の処分について承認すると共に、基本財産の処分に関する議案を教区会に提出することとした。

三、コロナ対応(一二月)に関する件

・一二月も従来の対応を継続

する事とした。
四、教区特別財産処分に關する件

・(旧)黒澤さん宅の処分に伴い、その売却益は矢野資金に戻入すると共に、長年管理に努めて来られた帯広聖公会に謝意を表すこととした。



主教室より

わかりました。

先日、一〇月二七日〜二十九日、日本聖公会総会が開かれました。当初六月に開かれるはずでしたが、コロナ感染拡大のために一〇月末に延期され、しかもオンラインでの総会となりました。私は議長を務めるため、管区事務所に向きましたが、管区事務所スタッフ以外、すべての教区の主教議員・聖職信徒代議員たちはそれぞれ教区事務所でのリモート参加となりました。

この総会で私は七期一四年間にわたる首座主教の職務を終えました。教区主教をしながら、首座主教として東京や国内各地、海外に向くことも多く、札幌を留守にすることはしょっちゅうでした。そんな中で、北海道教区の教役者の方々には「迷惑をおかけすることも多々ありましたが、いつもご協力いただきました。信徒の皆さまも、私の体のことを案じ、祈り支えてくださいました。きっといろいろなご不満もありませんでした。この一四年間を振り返り、皆さまの温かいお支えを今改めて思い起こし、心から感謝しています。定年まであと一年五カ月を切り、体力も減退している

ように感じますが、皆さまを通して神様から与えられた多くのお恵みを今一度思い返し、願わくば元気に最後まで教区主教としての務めを果たさせていただければと思います。私にとって北海道で過ごした歳月は一生の内どこよりも長くなりそうです。北海道の大地、人々、すべては私の第一のふるさととなります。

昔から、教区会や総会が終わると、心配して祈っている両親に電話したものでした。「無事に終わったよ。母はそれを聞くと、「ああ、主に感謝、主に感謝!」と。今回、「首座主教、終わつたよ」と言つ私に、天国から、「ああ、主に感謝、主に感謝」が聞こえてきます。

主教 ナタナエル 植松 誠

管区事務所編集 聖公会手帳 2021

- ・日記と年鑑を兼ねた便利性!
- ・教会暦・日課表の最新版を完全収録!
- ・教会・伝道所と関連施設が、直ぐわかる!
- ・紙質を軽量化して使いやすさを追求!

○大型判 2,200円 / 通常判 1,200円 (税込)

申し込みは聖公書店 (Tel 04-2900-2771)、またはお近くの書店まで。



十 教区逝去教役者 記念聖餐式

二月九日(水)

午前一〇時三〇分

於 主教室聖堂

次の方々を覚えて祈ります。

司祭 岡村 国夫

一九五四年二月一日

司祭 N・D・スミス

一九八四年二月四日

司祭 ウォルター・デニング

一九一三年二月五日

司祭 W・D・エディ

一九八九年二月五日

司祭 木村 光二

一九七九年二月九日

伝道師 北野 幸太郎

一九五七年二月一日

伝道師 津田 四郎平

一九一三年二月一日

司祭 大井 浅吉

一九二五年二月二〇日

執事 前川 修

一九四八年二月二三日

伝道師 永久保 秀二郎

一九二四年二月二四日

司祭 荒木 蕃三

一九四八年二月二四日

司祭 大矢 敬香

一九四二年二月三〇日



▽旭川聖マルコ教会

七日、頌栄保育園では収穫感謝礼拝が行われ、捧げられた果物を、近くの交番のお巡りさんや防火教室の消防士さん等にお届けしました。

二五日、収穫感謝礼拝と子ども祝福式が行われ、広谷さん、九月に誕生した、いのりちゃんの誕生感謝の祈りが行われました。聖餐式では八ヶ月ぶりに聖歌が歌われ、喜び溢れる歌声が聖堂に響き渡りました。階下の集会室では矢部幸子さん司式のもと子ども礼拝、その後マルコの野村氏による手品とゲームが行われ、子ども達は大喜びでした。

最後に、みんなで捧げられ

た果物、野菜のミニバザーを行いました。

▽岩見沢聖十字教会

神に喜ばれる礼拝をささげようではありませんか
(ハブル一二二八)

コロナ禍の中、感謝な事に一〇月全週、礼拝をお捧げする。まだ会衆は少人数ですが恵みに溢れる。

園の預かり保育、手薄な時間帯に武田かほる姉がお手伝いして下さる。助かります。

今月は園児の健康デー。信徒の山本達郎歯科医師、札幌独立キリスト教会の武田伸二内科医師に検診を願う。いつも園児を暖かく見守る二人。

一七日、会計会議に畠山兄出席。教区と教会の財政が厳しい中、思いを一つにする。

▽小樽聖公会

教会では毎年一月第一主日に「勤労・収穫感謝礼拝」を行ってきましたが、今年はその日が諸聖徒日にあたるのと、一月に入ってからでは収穫物・献げ物の流通が少なくなるといふことで、今年は一〇月一八日に礼拝を行います。

した。大根、かぼちゃ、ぶどう、みかんといった収穫物のほかに、勤労の実りから献金が献げられ、神様の豊かな恵みに感謝いたしました。

婦人会は二月の開催を最後に役員会のみが行われてきましたが、八ヶ月ぶりに会合が開かれ、今後の方針やクリスマスについて話し合われました。

▽新冠聖フランシス教会

今年はお盆の後の残暑の期間が長かったせいか、礼拝堂チャンネル中央に遠望する日高山脈の借景が木々に遮られてまだ見えません。でも、季節は確実に進んでおり、礼拝前には小泉さんがストーブに火を入れてくださっています。感謝。

コロナ禍の中、熊谷まき子さんは面会・外出が比較的自由で、礼拝には毎回出席されておりましたが、静内でのクラスター発生により暫くの間かなわないうこととなりました。後期の主教巡回にはお出でになれますようにと祈ります。

▽帯広聖公会

雪虫の舞う季節になりました。帯広では久方ぶりの主教様の巡回礼拝に普段の数倍の信徒さんが来会されました。教会内もあちらこちらに不都合な部分が出てきましたが、橋本知樹さんは教区でのお役

がおありなのに、八面六臂の活躍。工務店、電気工事、塗装業、更には興信所みたいに所在不明の信徒さんの住所を調べ上げ、調査。感謝です。礼拝出席も徐々に増えてはいますが、やはり寂しい限りです。それでも阿部司祭様の叙任で、聖餐式が行われ重ねての感謝です。

▽稚内聖公会

一〇月二二日、植松主教さまご巡回。礼拝は、主教さんご夫妻と本原さん三名の出席であったが、大きな恵みをもたらさ感謝。礼拝後もゆっくり近況などお話しすることができた。稚内と旭川を結ぶ宗谷本線には五三の駅があるが、JRはこのうち一三駅を廃止する方向で地元と協議を続けている。鉄道そのものま

でがなくならないようにと願うばかり。十一月は一五日の日曜日に礼拝を行う。クリスマスももうすぐですね。

〈冬の虹「思い煩ふこと勿れ」わぶん〉

▽釧路聖パウロ教会

▽厚岸聖オーガスチン教会
コロナ禍が再拡散し、釧路でもクラスターが発生。その中で毎週一五人前後が聖餐を頂くことができます。主の守りに感謝します。

二五日は収穫感謝祭に沢山の捧げ物があり、感謝!

聖餐式後、密のため中止していたオリーブ会で近況報告。津田正子姉は欠席でしたが元気にされているとのこと。及川姉から、ご主人が教会員になってから生活が変わったと話がありました。勿論、教会員夫妻として。荒井兄から、コロナ恐るるに足らず。医学は必ず勝利しますからと、励ましの言葉あり。閉会后、お茶会などに備蓄してあったコーヒー他の飲料や食品の賞味期限切れのもののは断捨離。他は、当分使用

の目処が立たないので各自に持ち帰ってもらいました。

冷蔵庫を清掃し、会食予定だった軽食をお土産に解散となりました。

▽平取聖公会

一八七九年(明治一二)宣教師ジョン・バチラーは平取の首長ペンリウク宅で氏からアイヌ語を学び、後の「アイヌ英和辞典」や「新約聖書」等の翻訳に繋がりました。

そのペンリウクの遺骨が一九三三年(昭和八)に北海道大学医学部の手で墓から掘り出されたままになっていました。ペンリウクは後に名譽町民に彰せられています。そのペンリウクの遺骨が国の返還ガイドラインによって八七年ぶりに他の三三遺骨と共に平取に帰って来ました。長い時間その権利が奪われたままでしたが、一〇月末に返還され、カムイノミ、シンヌラツ

パの慰霊式が平取アイヌ協会や平取町により行われました。感謝。

▽函館聖ヨハネ教会

夕焼けが美しい季節です。

平日でも観光客が多く、オーブンチャーチにも一般の方や修学旅行生などが来ています。新しく作った教会のスタンプは好評。

先月に続き、ミニミニバ

ザーが、秋晴れの第二主日午後、行われました。「いつものお赤飯は無いの?」「このケーキは、東京の孫に送ってあげるのよ」毎年バザーを心待ちにしてください。準備の方が来店。驚きと嬉しさで、更にやる気満々。次は、クリスマスミニバザーです。準備に力を合わせます。

今年台風の影響がなく庭の薔薇が、未だ美しく咲いています。これからは、落ち葉が境内を占領しそうです。

▽札幌キリスト教会

一〇月に入り急に寒さが増してきました。教会では感染予防対策と冬に向けての暖房・換気設備について検討を進めています。一〇月四日には収穫感謝礼拝が行われました。前日には有志が子どもたちと共に祭壇に飾り付けをし、当日は多くの果物や野菜

など恵みの収穫物をお捧げしました。九日からは、札幌豊平教会、札幌バプテスト教会との協働で、コロナ禍によって困難を抱えている留学生の為に「金曜ランチ」がスタートしました。また、これから迎えるクリスマス礼拝や行事に向けて検討中です。

▽札幌聖ミカエル教会

一〇月より、主日聖餐式のリモート中継を始めました。なかなか礼拝に出席できない信者さんにとって、信仰の一助になってくれればと願っています。今年バザーが中止のため、九月の最終日曜から三回にわたり、教会前にテントを張ってミニバザーを開催。あくまで信徒向けでしたが予想外の収益が与えられ感謝でした。二五日、司祭不在の折、み言葉の礼拝にて幼稚園主任で信徒の石渡秀子さんの奨励、大きな感動をいただきました。二四日、幼稚園生活発表会。コロナ禍の中でも逞しく成長した子どもたちの姿、先生方の愛情を目の当たりにした一日となりました。

▽新札幌聖ニコラス教会

一日は収穫感謝と子ども祝福礼拝でした。メノビレッジの無農薬で育てられたじゃがいもや仲野農園のりんご、持ち寄られた果物・自宅菜園の収穫物と献花で礼拝堂が彩られました。豊かな実りに感謝。

久しくおやすみになっていたマリア会を開催。コロナ禍での工夫を模索中。一月から自宅で読んでくる聖書会が復活。降臨節を控えてマタイ一二章から読み始める予定。二五日は全逝去者記念聖餐式。礼拝後は円山墓地にて北川輝彦兄の納骨式と墓参の祈りをお捧げする。

▽網走聖ヘテロ教会

一〇月の礼拝堂は主に花壇のダリア・コスモスが飾られました。お花が終わり、冬支度に入っています。床下の沢山の換気口を閉め、古く要交換だった灯油タンクが新しくなりました。第三週のみことばの礼拝では、飯野まゆみ姉が証を担当。「困難から祝福へ」の題で十ヶ月の出来事を

振り返り、感謝を語られました。故佐藤愛一兄から会計担当を引き継いで下さった丑年生れの森谷姉から、交代の希望ができました。教区会計担当者会には、和田姉が代理出席しました。

▽有珠聖公会

一〇月二五日、収穫・勤労感謝礼拝が二〇名を超す会衆で捧げられました。礼拝堂は、能澤農園産のたくさんのカボチャや持ち寄られた野菜・果物で見事に飾られました。ライトアップ計画について伊達市・観光協会・自治会の皆さんと話し合いが持たれました。翌日、洗礼準備会が開かれます。一〇月三十一日、四月から毎週土曜日のバチラー夫妻記念館の開館も今シーズンの働きを終了。コロナ禍にもかかわらず、多くの方々に訪れていただきました。片平芳裕さんのお働き大なり。感謝。

▽留萌キリスト教会

雨が続いた一〇月、晴天は希有な恵みの日でした。中幌糠で米を作っている小林さんの畑では、雨で刈り入

れが難航。自然が相手の生業に、天候は微笑んだり牙を剥いたり。苦境にあつても主の平安がありますようにと祈ります。

二五日午後、収穫感謝礼拝が植松主教様のご巡回と合わせて行われました。野菜のバザーもあり、楽しい一時でした。

▽今金インマヌエル教会

一〇月は大小のハロウィンかぼちゃに囲まれ、収穫作業最盛期で、出席者が少ないながらも、礼拝を守ることができました。遠路通つてくださる司祭夫妻に心から感謝です。今年のかぼちゃは忙しさにかまけて顔がのつぺらぼうのままなのが心残りだという作者の声が聞こえてきますが、それでも色鮮やかに美しく訪れる人を迎えてくれます。教会の周りに植樹をする計画も順調に進んでいます。

季節の移り変わりと共に、教会の外観も変わっていくことがとても味わい深いです。

▽紋別聖マリヤ教会

新型コロナウィルスとの共

存がまだまだ続きそうな気配の中でも、季節は移ろい、いつもと変わらぬ美しい紅葉があちらこちらで見られます。一八日、植松主教様による収穫感謝礼拝が捧げられました。幼稚園のホールでたった八人での礼拝。聖歌をフルコーラスで五曲も歌えるのは、今はここだけでも知れませんが、とてつもない主様の言葉にあらためて今は大変な時代なのだと思えました。翌日は幼稚園での収穫感謝礼拝。

その後、園で収穫したジャガイモを塩煮にして、みんなで食べました。

▽室蘭聖マタイ教会

いつまで続くのか、新型コロナの影響。管理司祭の負担は週報、礼拝式文、説教の作成等で大変だと思えます。信徒も互いの安否確認、入院中の訪問も許されず淋しい限りです。信徒も年寄りばかりで二階の礼拝堂に階段を上るのが大変で、下のホールで礼拝する事が検討されておりま

す。一日は収穫感謝礼拝でした。第四主日は聖餐式後マ

タイによる福音書の輪読会が続けられています。二階の石油ストーブが古くなり不調が続いたので、司祭の配慮でF式に交換されました。暖かくなり喜んでおります。

▽深川聖三一教会

一〇月四日、教会委員会、一層のコロナ対策を確認す。七日、保育園の収穫感謝祭園児の捧げる野菜と果実とお米が祭壇で輝く。世界中の子どもが飢えから救われることを祈る。一日、教会報発送作業。一五日、保育園職員会議、須網保育士から竜巻避難の指導あり。一七日、会計担当

者会議に会計担当の岡本俊秀さんオンラインで参加、ありがとうございます。ついに教会も通信機器革命を迎える。二五日、久しぶりの教区主様の巡回を迎え一同大喜び。共に収穫感謝祭をす。三千代夫人にオルガン奏楽の奉仕をお願いします。感謝。

▽苫小牧聖ルカ教会

「クアアア」と賑やかに鳴き交わす声に空を見上げる。晴れた空に大編隊の白鳥が今

年も渡って行きます。「お帰り」と心の中で言い、しばし立ち止まり思いに浸ります。

毎週牧師はM.T.S東アジアオンラインミーティングをします。M.T.Sセンターは閉鎖し、訪船もデッキで会うだけ、船員は自由に上陸できないそうです。一四日、礼拝堂に換気扇設置。一八日、収穫感謝に二名出席。神様は寒さの前に美しい紅葉と地と海の産物を与えて下さいます。感謝！

▽北見聖ヤコブ教会

ストロブのスイッチを入れるのが楽しみな北見です。礼拝出席者数がそう多くはないので、皆様がそれぞれ役を持つています。奏楽、会計、礼拝日誌、写真、司会など。相談して決めたというように、自然にこうなっています。先日、聖公会手帳の注文をしました。お交わりの中では、健康や通院の話で花が咲きます。司祭は中央道開闢犠牲者追悼式で祈りの奉仕をしたり、紋別幼稚園のお誕生礼拝の奉仕などをいたしました。

そろそろ除雪機の準備や窓の雪囲いをする必要がありますね。

▽聖マーガレット教会

一〇月四日(日)、主様の巡回日。いつもより多い出席で聖餐式をおささげする。主の恵み、主からの信頼を受けながら、それをあたりまえのこととしていかないか。イエスさまの厳しい問いかけをマタイ二一・三三以下の譬えから聴き、思いを新たにします。

一〇日(土)、ヘレン木口君江さん逝去。翌日、夕より葬送式を執り行う。説教を孫にあたるヘレン木村夕子司祭が担当。家族を労り大切にされた人生。そこには、喜びも悲しみもあった。そして、主の祝福があつた。遠方から親族の方々も駆けつける。

